

今年度の入学者選考結果は下記の通りとなりました。

概況

募集定員	20
志願者数	24
合格者数	21
志願倍率	1.2
合格者平均点 (5教科 250点満点)	177.5
受検者平均点 (5教科 250点満点)	175.4

※志願者に青翔開智中学校からの内部進学者は含みません。

※合格者平均点・受検者平均点は「学力検査」の結果に基づくものです。

実際の合否は、学力検査・面接検査（個人面接・書類審査 [資格・検定取得者優遇]）を合わせた総合判定です。

学力検査 詳細

科目/配点	国語/50	数学/50	社会/50	英語/50	理科/50	合計/250
受検者最高点	42	50	49	49	46	230
受検者最低点	18	19	25	23	20	115
受検者平均点	30.2	34.2	38.9	39.3	32.8	175.4

※上記は令和3年1月15日（金）実施の「学力検査」結果に基づく数値です。

国語

国語の入試問題は、【問題1】から【問題5】までの大問5つで構成されています。【問題1】では口語文法などの国語の知識に関する問題、【問題2】【問題3】【問題4】ではそれぞれ文学的文章・論理的文章・古典的文章の読み取りに関する問題、【問題5】では、複数のグラフを読み解き、それを踏まえて意見を書く作文形式の問題を出題しました。【問題5】の作文では、グラフが何を表しているのか、自分がどのような情報に注目すべきなのかを整理しましょう。様々な範囲から出題されるので、中学校で勉強した範囲を漏れなく復習することを心がけてください。

数学

構成は5題で、難度は標準ですが例年に比べ易しい問題も含めました。基礎的な計算問題に加え、式が表す意味を理解していないと正解できない問題を出題しています。また、規則性を見つけ、数式で表現する、数学を使うことを意識した問題も出題しています。【問題5】は、発展的な内容ではありますが、問題文中に計算方法の記載があり、教科書を読む力があれば答えを求めることができます。言葉を正確に理解する習慣をつけていただきたいです。

社 会

今年度は感染症の影響もあり、地理・歴史分野は全範囲、公民分野は国際分野を除く範囲から出題しました。グラフ・資料から考察する問題を多く出題しており、用語の意味だけでなく、その背景や意義、他の用語とのつながりを考える必要があります。【問題4】では、SDGsをテーマとし、17の目標のうちの1つの目標の解決が、他の目標の解決にどうつながるのか考える力を問いました。全体を俯瞰した上で一つひとつの出来事の意味合いを捉え、「大きな視点・流れ」を意識して学習してほしいと考えています。

英 語

鳥取県の県立高校入試に準じた構成で作問しています。基本的な文法知識・語彙力・読解能力を身につけていることが大切です。長文読解の問題は例年通り3つ出題しています。【問題6】の英作文の問題に必要な回答時間も含めて、時間配分はよく考えておきましょう。なお【問題6】は例年の問題とは少し傾向を変えました。与えられたイラストに関して自由に英作文をする問題です。視点は看護師でも、お婆さんでも、第三者でも構いません。限られた文字数で、状況の説明を適切に表現できるかを問いました。

理 科

全8題で観察実験を題材とした内容を出題しました。実験書の手順に沿ってただ観察実験をするのではなく、個々の操作の意義を考えることができているか、実験の様子を想起できているかを重視しました。また、本校で行う探究活動ではチームで取り組み、結論を導く機会が多いため、【問題8】ではチームメンバーが様々な形で記録した情報を適切に処理し、答えを導くことができるかを問いました。この入試を通して、適切に考察しながら観察実験に取り組む態度の大切さを実感していただき、高校での活動を有意義なものにしてください。